

要 望 書

境港出雲道路未着手区間の早期事業化と
松江北道路の早期完成について

令和 8 年 7 月

島 根 県

出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟会
境港出雲道路(松江北道路)建設促進期成同盟会

「中海・宍道湖 8 の字ルート」の一部を構成する高規格道路「境港出雲道路」は、速達性・定時性の確保による物流の高速化や広域周遊観光ルートの構築など、圏域の産業振興に大きく寄与するだけでなく、災害時に避難路・緊急輸送道路としての機能を果たすことが期待される重要な社会インフラです。

令和 6 年能登半島地震により多くの幹線道路が被災した事例や、本県で発生した令和 6 年 7 月豪雨災害で幹線道路が寸断した事例などから明らかになった半島防災の重要性を踏まえ、災害からの迅速な復旧と早期の日常生活・経済活動の再開を見据えた、被災後直ちに機能する道路ネットワークの構築が求められています。

令和 6 年 1 2 月に開催された社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会においても、「中海・宍道湖圏域の持続的発展を考えると、東西方向における交通課題の解消や、空港・港湾アクセス強化等に資する道路ネットワークの整備が必要」との見解が示されました。

これらを踏まえ、令和 7 年度に「境港出雲道路整備計画検討会」を計 2 回開催し、令和 8 年 4 月に出雲市街地周辺を優先区間として今後の進め方を決定したところです。

また、「境港出雲道路」の一部区間として現在整備を進めている「国道 4 3 1 号松江北道路」は、松江市街地の外環状道路として、交通渋滞の緩和や山陰道へのアクセス向上といった効果が期待されるとともに、災害時の避難の円滑化など防災機能の強化が見込まれます。

「国道 4 3 1 号松江北道路」の整備は、「松江だんだん道路」の全線開通による生産性向上と企業進出・雇用創出の効果を増幅・拡充させるものと地元地域および経済界から強い期待が寄せられる中、今年度から工事が本格化しており、今後多額の予算が必要となります。

つきましては、中海・宍道湖・大山圏域の発展に寄与する「境港出雲道路」とその一部をなす「国道 4 3 1 号松江北道路」について、次の項目を強く要望いたしますので、特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 中海・宍道湖圏域を結ぶ「8の字ルート」の一部を形成する「境港出雲道路」は、東西方向における交通課題の解消や空港・港湾へのアクセス強化など、圏域の持続的発展に必要な道路であり、災害に強い国土幹線道路ネットワーク機能を確保するためにミッシングリンク解消が必要な高規格道路でもあるため、本県や関係自治体と連携し、優先区間における概略ルート・構造など、計画の具体化に向けた検討を進めるとともに、未着手区間について国の直轄事業として早期事業化を図ること。
2. 高規格道路「境港出雲道路」の一部となる「国道431号 松江北道路」は、松江市街地の渋滞緩和や災害時の迂回路確保に欠くことができない道路であり、早期完成を図るため、今年度から本格化している工事に必要な予算を確保すること。
そのためにも、令和9年度予算および国土強靱化予算については、道路関係予算を拡大した上で所要額を満額確保すること。

令和8年7月22日

島根県

島根県知事

丸山達也



出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟会

会長 出雲市長

飯塚俊之



境港出雲道路(松江北道路)建設促進期成同盟会

会長 松江市長

上定昭仁

